

令和 2年度予算見積調書

課室名：水環境課
 担当名：水環境担当
 内線：3081

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B38	マイクロプラスチック削減対策事業費			一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	マイクロプラスチック削減対策費	
事業期間	令和元年度～ 令和3年度	根拠法令	廃棄物処理法、容器包装リサイクル法、海岸漂着物処理推進法、水質汚濁防止法	宣言項目		分野施策	051246 川の再生		
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>マイクロプラスチックは、適正に処理されないプラスチックごみ（ポイ捨てごみ）が陸から川を通じて海洋へ流出することが大きな原因である。 「川の国埼玉」として削減活動を実施し、「川の国埼玉からプラごみを海に流さない」ようにする。</p> <p>(1) プラスチック問題対策協議会の開催・運営 994千円 (2) プラスチックごみ削減手法検討・展開 2,655千円 (3) マイクロプラスチック調査・発生源対策 7,783千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア プラスチック問題対策協議会の開催・運営 994千円 製造業者、消費者など関係者が一体となって解決策を検討するための協議会を開催し、「プラスチック使用量の削減」、「代替品・リサイクル品の開発・普及」、「飛散しにくい機能的容器の検討」を実施</p> <p>イ プラスチックごみ削減手法の検討・展開 2,655千円 県内5箇所でのプラスチックごみを調査し、地域の状況に応じた削減モデルを確立・展開</p> <p>ウ マイクロプラスチック調査・発生源対策 7,783千円 県内10か所で、マイクロプラスチックを調査し、結果に基づく発生源対策（業界指導等）を実施</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 協議会の開催及び運営 イ 県内5か所でプラスチックごみ調査を実施し削減モデルを確立 ウ 削減モデルの横展開（県政出前講座等） エ プラごみゼロウィークの開催 オ 河川水中のマイクロプラスチック調査</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 協議会によりプラスチック使用量の削減、代替品・リサイクル品の普及、飛散しにくい機能的容器の開発が進む。 イ 製造業者、流通業者、消費者、ボランティア団体などの各関係機関が情報交換を行うことで、連携した取組が推進される。 ウ プラスチックごみ削減手法の検討により地域住民や流域市町村の意識が向上し、海へ流出するプラスチックごみの量の削減が進む。 エ 地域の状況に応じて実施主体や啓発手法などを適切に組み合わせることで、効率的・効果的に削減が行われる。 オ マイクロプラスチック調査により発生させている業種を特定し、対策を講じるよう業界に要請することによりマイクロプラスチックの流出が抑制される。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
地方交付税（包括算定経費）（区分）企画費 （細目）環境保全対策費（細節）環境保全対策費 （積算内容）環境の監視調査・測定・分析 公害の規制等									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	11,432	諸収入						11,432	△16,720
前年額	28,152	3						28,149	